

市指定

さいしょくいたぼとけ
彩色板仏

所在地：滝の口449

所有者：小高神社



大日如来像図
縦46cm 横26.3cm

十一面観音菩薩像図
縦44.8cm 横27.9cm

釈迦如来像図
縦46cm 横28cm

毘沙門天像図
縦46cm 横27cm

絵馬の一種で本来は、一枚の板に数体の尊像が描かれていたものと思われます。

現存しているのは大日如来像図、十一面観音菩薩像図、釈迦如来像図、毘沙門天像図の4面です。それぞれの裏面には墨書があり、瀧口大名神、旦那賀藤九郎兵衛などのほか、天文17年2月の年号が記されています。天文17年は西暦1548年にあたり、戦国時代の資料であることがわかります。本資料は、小高神社の本尊として祀られていました。神社本殿内には木彫小仏像や烏天狗が納められており、また本殿基礎内から一字一石経が出土していることから、本資料が神社の本尊として祀られたことが理解できます。数少ない中世の資料であり、当時の社会情勢や宗教文化を知るうえで大変貴重なものです。